

Shin Club 22

（株）辰 通信 Vol.22

2002年1月

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷1-24-4-7f

Phone: 03-3486-1570

Fax: 03-3486-1450

今月のトーク 「ビジネスの好機を逃さず 打って出る」

株式会社日商機械さんは、創業36年の建設機械のレンタル卸業者さんです。本社は大阪ですが、このたび川崎の総合機材センターを弊社の施工で新築されました。年初にあたり、姫野康通社長にお話を伺うことができました。年頭はまず、元気なお客様のパワーの秘密を探ってみたいと思います。



日商機械 姫野康通社長

建設業界は今、もっとも不況業種といわれていますが、御社はいかがですか。

「わが社は昨年9月の決算では、過去最高の40億5000万円を売上げ、おかげさまでまずまずの利益を得ることができました。これは平成8年の売上38億円以来の数字です。阪神大震災の後ですね。このときに、商品を豊富にとりそろえ、人員も強化しました。4年前に名古屋に進出、そして博多に2年前に出店して現在に至っています。

出店前の名古屋の取引は月間300万円でしたが、半年で3000万円/月になり、平成12年9月の水害の影響で、翌10月は5000万円/月の売上をみましたね。現在も4000万円/月ペースで推移しています。」

現在も川崎センターの近くのマンションを借りて、月のうち半分は関東、あとの半分は大阪、名古屋というベースの姫野社長。出店の際には、必ず半年ばかりそこに生活の拠点を置き、陣頭指揮をとる心強いリーダーです。出店すると、それまでの取引から10倍の売上増を出してきました。関東圏には7年前にここ川崎に進出、そして、3年前に船橋、戸田と出店して、これで関東全域をほとんどカバーできるようになっています。

このような活発な事業展開をされていく際の、御社の強い部分とはどんなところだとお考えですか。

「私どもの仕事は、建設機械などを一般のレンタル業者さんに卸す仕事です。全国2500社ほどあるレンタル業者さんの取り扱っている商品はだいたい各社とも200種どまりでしてね。大型のものが多いし、ほとんどの業者さんはそれ以外にどんなものがあるのかさえ知りません。わが社は現在3500種2万5,000点を用意し、月に2種類ほど、新機種を増やしております。年間にすると10~20種類の新機種のご紹介を行っています。例えば昨年新機種として導入した「マイコンバイブレーター」は明石海峡の橋脚工事で採用されていますが、非常に高性能で、従来のもののように故障しません。やはり豊富な品揃えは普通の業者さんではむずかしいですよ。整備もできませんし、それだけのものを抱えているのは大変です。パンフレットも用意して、常に新しい情報を提供するようになっています。」

さて、今年はどうような展開をされていく予定ですか。

川崎総合機材センター
（川崎市川崎区港町）



「そうですね、今までは出店してこのように結果を出してきましたが、実はこの経済状態ですから今年は「我慢の年」ということで、「筋肉質の体質」に会社を鍛えていこうと考えています。たくさんの取引先の中には、倒産するところも出てくるかもしれないので、選別をきちんと行い、キャッシュを常に手にしておけるようにしたいですね。」

どこの会社もやっていることですが、信用情報にはことに注意をはらって、社員にも徹底させているそうです。もちろん、北海道、東北、四国と今後出店を視野に入れている地方もあり、要請を受けて進出すれば儲かるという自信はあるそうですが、今は慎重な姿勢をとっているらしいです。

社員教育に熱心でいらっしゃるって伺っていますか。

「現在、従業員は正社員140人、バイトや契約社員を含めると180人体制です。一昨年春から大阪の研修センターで社員研修を開始しました。機械の知識だけでなく、社員の「人間としての向上」を図りたいと考えまして、一人の社員に3ヶ月に1回の割合で研修の日が回ってくるように、毎週研修を開催しております。わが社は高卒社員が多いのですが、取引先の担当者はほとんど大卒。会話をする上で対等なお付き合いをしてほしいと以前から思っていました。管理職もレベル別に2班に分け、月に1度土曜日に行っています。私はどちらにも顔を出しています。」

平均年齢27歳という若い会社だけに、それだけの効果は表れているようです。忙しい中、冬はスキー、夏はボートでつりや水泳を楽しむスポーツマンの社長は、30歳からは「居合」もたしなまれているとのこと。大阪本社には道場もあり、社員や取引先の方々と練習されているそうです。古武道の精神面での厳しさが魅力と語ってくれました。

最後に今回のこの川崎総合機材センターの建物の感想をお聞かせください。

「すっかり設計の石崎先生にお任せでした。こちらの希望は吹抜けの倉庫を作ってほしいということだけで、倉庫というのはスレートで囲まれていけばいいという感じでしたが、さすがに先生はセンスが違いますね。こちらが質問したことに10倍の答えが返ってくる人です。感動しましたよ。ガルバリウム鋼板も明るくて、いい建物です。年始に来たお客さんも皆さんびっくりされています。社員も明るい雰囲気の中でやる気ができますね。窓に色をつけるというような発想は素人には出ませんわ。渋谷あたりのカフェみたいで格好いいですね。」

どうもありがとうございました。

年頭のご挨拶

株式会社 辰 代表取締役社長 森村 和男

あらゆる分野において再編と淘汰が進行し、新しい枠組みを構築する時代が始まりました。古い殻を脱皮して新生した私たちにとって、むしろ望ましい時代の到来でもあります。この好機に自らの質的な成長を果たすべく、足元を真摯に見つめ、新たな時代への提案を忘れずに、お客様のために一流の仕事をするのが私たちの使命と考えています。本年も皆様のご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

平成14年1月吉日

TOPICS

「日商機械 川崎総合機材センター」竣工 (12月16日) 川崎市川崎区港町

1階は受付事務所と倉庫、2,3階とも倉庫ですが、中2階が社員のための食堂のスペースになっています。4階が事務所。正面の車の出入り口のシャッターは、色分けされ、各入口のポールも色分けされているので、大小様々な機械が並び内側への導入もスムーズに行われます。裏側のヤードにはガルバリウム折板のブリーツを生かした雨よけスペースもあり、表情が豊かです。設計:アーキウィル石崎建築設計 石崎友久



4階エレベーターホール



4階テラス



4階テラス側の窓



4階事務所への通路(床は無垢材)



カラフルな1階ゲート



中2階への階段



1階エレベーターホール



4階事務所



裏側のヤード

WHAT'S NEW

「建築士」2002年1月号 (社団法人 日本建築士会連合会)
～筑波大学附属駒場高等学校創立50周年記念館～
「第29回会員作品展 優秀賞」(設計:安山宣之)

毎年、所属する会員の作品の中で、創意に満ちた建築作品を募集し、審査しています。「3枚のRC壁を設けて、視線を制御するとともに、隣接するバス通りに対する遮音とパティオを核とする本空間の独立性の確保を図る。…空間相互の連続性を創り多様な使用への対応を可能とする」建物と評されています。

